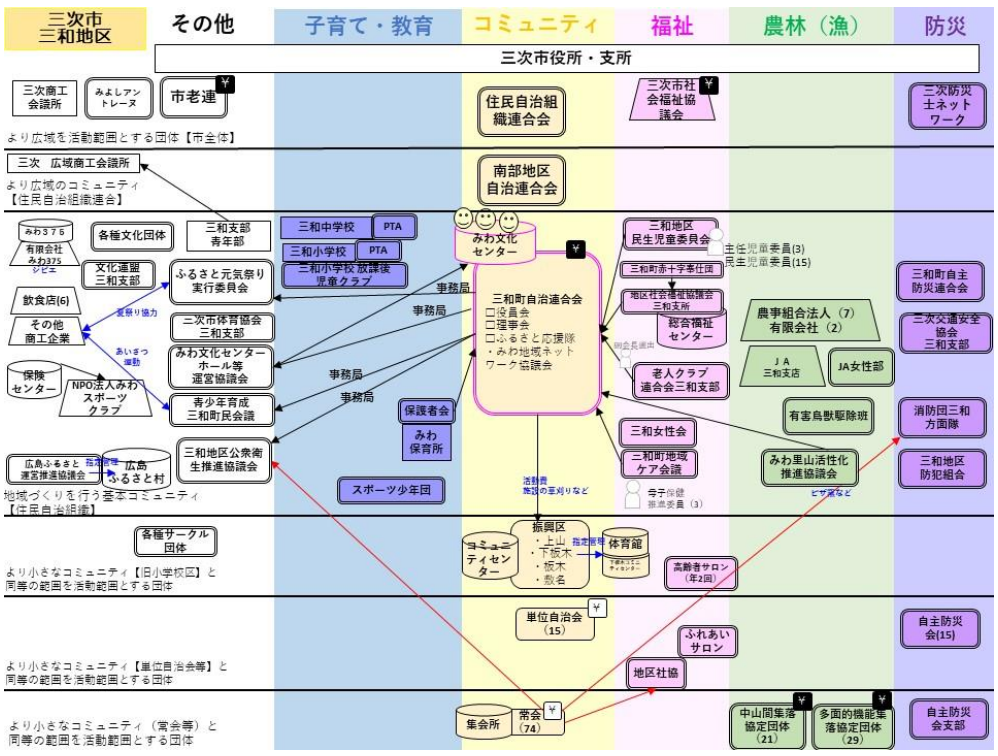
三　和　三和の教科書づくり

01 取り組み概要

実施主体	三和町自治連合会(まちづくりビジョン推進委員会)
ねらい	● 移住者が溶け込みやすく、選んで良かったと思える町にする 三和に可能性を感じて来る移住者を快く受け入れ、温かい地域づくりを目指す
内　容	令和4年度から推進している「第3次まちづくりビジョン」のメニューの中で、推進委員会議で最も優先度の高いとされた「三和の教科書づくり」を進めています。 まちづくりビジョン推進委員を中心に先輩移住者に聞き取りを行い、比較的声の多かったものをピックアップしました。 移住者に早めに知っておいてもらいたい事柄をまとめることにより、1日でも早く地域に馴染んでもらうことを狙いとしています。 今年度(令和5年度)に完成予定です。

02 取り組み体制



2020年度地元関係図上に表示

03 特徴・工夫

● Q&A
— 先輩移住者が今までに困ったことや、わからなかったことで、意見の　多かったものを紹介
（会費や寄付、行事、地域の単位、奉仕活動　など）

● 先輩移住者の声
— 田舎暮らしの楽しさを伝える（畑いじり、DIY、天体観測　など）
— ご近所付き合いの手法やきっかけなどを伝える

● マップ
— 三和町周辺へのアクセスを整理することにより、買い物や通院、仕事などの行動範囲の指標としてもらう

04 成果と課題

成果

● 多角的な情報の整理となった
移住者に向けた情報を整理すると、4つの振興区によって同じ情報でも違う答えがあることがわかった。(買い物や病院の行先、常会の開催頻度や集金の仕方　など)

● 移住の種類ごとに悩みが違うことがわかった
Iターン･･･地域行事や集まりなど、前居住地と手法などが違う
Uターン･･･出身者ゆえ地域のことを知ってる、わかってると思われがち

課題

● 媒体の検討

● 「移住者の覚悟」「受け入れ側の覚悟」となるか

05 取り組みの様子

会議はハイブリッドで

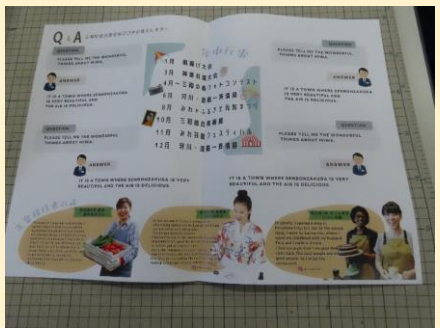
コロナ渦中から始めたハイブリッド会議。
コロナが落ち着いてきても、遠方からでも会議に参加できる体制を継続。
この日はデザイナーが広島市から参加。

まちづくりコーディネーターへ委託

会議の構成やトータルスケジュールの作成などはプロにおまかせ。
ノウハウをお持ちの方が進行してくれるので、会議の回数が最小限に抑えられています。

サンプル①

表表紙
四季の写真を使い三和の特徴を表現。
特に冬の写真で雪景色を見てもらうことで、雪が降る地域という認知を狙っている。



サンプル②

中面
Q&A、年中行事、先輩移住者の声を紹介。
移住後のイメージを持ってもらう。

サンプル③

裏表紙
広島県における三和町の位置関係をマップで整理。
アクセスを整理し、仕事や通院、買い物などの距離感をつかんでもらう。

サンプル④

挟み込み
町内のマップ。
主要窓口を紹介し、移住後の相談先を整理。
支所、駐在所、スーパー、郵便局、文化センターetc

スタッフ声

☆ 参加者同士で交流できることが嬉しい。
☆ 住んでいる地域を改めて知る機会になりました。
☆ 多様な見方や価値観の意見交換ができて勉強になりました。
☆ 読む側の立場とを想像して作ることが大切だと感じました。
☆ 集まることができるようになり、対面でお話をする大切さを再確認できました。
☆ 普段あまり会う機会のない方たちと同じ方向を向き、話を進められたのがすごく楽しかった。